

令和4年度 第15回 児童生徒の平和に関する図画・作文コンクール 図画の部 『審査結果の講評』

応募した児童生徒の皆さんがコンクールの趣旨をよく理解して、各学年とも発達段階にふさわしい表現をした素晴らしい作品がたくさんありました。

低学年の作品では、平和であると感じたことを自由な発想で素直に表現している作品が多く見られました。自分の思いを伸び伸びと描く楽しさが感じられ最後まで丁寧に作品と向き合ったことも伝わりました。また低学年らしい発想と構図や技法の工夫もあり、平和な様子がよく現れていました。

中学年は、全体に表現の豊かさや生き生きとした動きを工夫した作品が多く、平和である様子や伝えたいことをはっきりと表すことができていました。また奥行きのある作品に仕上げたり、さまざまな角度から描くような構図の工夫をしたり、個性的で楽しい作品が多く見られました。また、平和的な豊かな感情を表現するために、色使いをうまく組み合わせた作品もあり、技法の向上が見られました。

高学年は、人物描写はもちろん、背景や周りの様子まで細かく工夫されている作品が多く、構図や色彩も工夫されていました。効果的な技法を身に付けて来たことで、描く力が向上してきたことがうかがえます。アニメーションのように描かれた作品もあり、今後は人物の表現や全体的な構図などの工夫が必要になると思います。

優れた描写力で色使いや画面構成もすばらしく、細かな陰影まで丁寧に描かれている作品が多くありました。また、その年齢ならではの感じ方や表現で素直に描かれている作品や、個性豊かな面白い構図や美しい色彩で表現された作品もありました。

中学校は今回も力作が揃いました。描写が細かく力強さが感じられ、平和を願う気持ちが十分伝わる力作で、色使いや画面構成も素晴らしかったです。

構図の工夫はもちろん、デッサン力の向上陰影をうまく利用した表現など、技術の高い作品が多く見られました。表現方法に工夫があり、画面全体にのびのびと自由に表現していました。

去年も書きましたが全体的な課題としては、小学校の作品で画面の構成が同じなど画一的な作品がありました。また、絵の中に文字が入っているものが多くありました。役場の企画政策課から出されている募集要項には、図画の部では「文字を入れないこと。」とありますので来年は注意してほしいと思います。

